



2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年6月26日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社オークワ
 コード番号 8217 URL <https://www.okuwa.net>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大桑 弘嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理本部長 (氏名) 古座岩 満史 (TEL) 073 (425) 2481
 配当支払開始予定日 ー
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績(2026年2月21日～2026年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	59,708	△0.6	△318	—	△278	—	△268	—
2026年2月期第1四半期	60,044	2.3	59	—	105	—	5	—

(注) 包括利益 2027年2月期第1四半期 △314百万円(—%) 2026年2月期第1四半期 112百万円(△17.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	△6.59	—
2026年2月期第1四半期	0.14	0.14

(注) 2027年2月期第1四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	128,187	73,796	57.3
2026年2月期	129,223	74,641	57.5

(参考) 自己資本 2027年2月期第1四半期 73,444百万円 2026年2月期 74,288百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の連結業績予想(2026年2月21日～2027年2月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	126,300	1.5	600	3.5	680	1.5	300	20.9	7.37
通期	255,500	1.1	2,100	11.8	2,100	6.4	650	145.8	15.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料6ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年2月期1Q	41,937,297株	2026年2月期	41,937,297株
② 期末自己株式数	2027年2月期1Q	1,254,753株	2026年2月期	1,254,722株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年2月期1Q	40,682,560株	2026年2月期1Q	41,625,668株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2026年2月21日～2026年5月20日）におけるわが国経済は、人手不足を背景とした高水準の賃上げ継続や雇用・所得環境の改善、設備投資の増加等により、緩やかな回復基調を維持いたしました。しかしながら、中東地域をめぐる地政学リスクの長期化・緊迫化に加え、原油価格の再高騰や不安定な為替相場の推移、エネルギーコストや原材料費のさらなる上昇など、依然として先行き不透明な状況が持続しております。

小売業界におきましても、物流コストや人件費をはじめとした各種固定費の増加が続いていることに加え、食品価格の上昇がもたらす家計への負担増から、消費者の買い控えや防衛的な節約志向がより一層強まっております。

また、業態の垣根を越えた企業間の競争激化や、デジタル対応への投資拡大など、厳しい経営環境が続いております。

このような環境下において、当社は当期スローガンを『全従業員の知恵と工夫を結集し やらないことを決め やるべきことに全力を尽くし お客様に喜ばれるお店をつくろう』と決めました。「小さな気づきを行動に移そう」という姿勢は継続し、コストの適正化に向けた業務の効率化を推進してまいります。さらに、多様化するライフスタイルに対応した商品・サービスを提供し、来店客数回復に向けた「選ばれる店づくり」を実践することで、食の安全・安心と豊かな生活をお客様にお届けし、地域社会への貢献と持続的な収益力向上に努めてまいります。

具体的な施策といたしましては、マーケティング分析に基づき、業態ごとの重点商品を明確化し、来店客数及び売上の上昇を図ります。また、自社公式アプリを通じた購買データ分析による「One to Oneマーケティング」を推進するとともに、DXの活用による店舗作業の効率改善に取り組んでまいります。

さらに、「脱炭素」「脱プラスチック」「フードロス削減」等への取り組みを継続・強化し、「移動販売事業」や「環境保全活動」へも注力することで、サステナビリティ経営を推進し、引き続き、「変わらぬ想いで、変わり続けるスーパーマーケット」の具現化を目指し、企業価値の向上を図ってまいります。

連結子会社については、外食事業を営む株式会社オークフーズは、微増収となったものの、人件費を中心に販管費が増加したことにより減益となりました。農産物等の加工・配送業務を担う株式会社サンライズは、野菜相場安などによる物流取扱高の減少と経費増により減益となりました。

これら連結子会社の減益に加え、主力のスーパーマーケット事業においても、消費者の節約志向等から客数が前年同期を下回り売上高が苦戦したこと、及び荒利益率が低下したことにより、利益を圧迫する結果となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績につきましては、営業収益（売上高及び営業収入）は597億8百万円（前年同期比0.6%減）となり、営業損失は3億18百万円（前年同期は営業利益59百万円）、経常損失は2億78百万円（前年同期は経常利益1億5百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億68百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益5百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ10億35百万円減少し、1,281億87百万円となりました。流動資産では2億21百万円の減少であり、これは主に現金及び預金が18億81百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が8億20百万円、商品及び製品が6億57百万円増加したことによるものであります。固定資産では8億14百万円の減少であり、これは主に建物及び構築物（純額）が6億20百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1億90百万円減少し、543億91百万円となりました。流動負債では7億21百万円の増加であり、これは主に支払手形及び買掛金が9億23百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払費用が5億45百万円増加した一方、流動負債の「その他」に含まれる未払法人税等が5億25百万円、未払金が1億90百万円減少したことによるものであります。固定負債では9億12百万円の減少であり、これは主に長期借入金が9億31百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ8億45百万円減少し、737億96百万円となりました。これは主に利益剰余金が7億96百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の業績予想につきましては、2026年4月6日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,374	9,493
受取手形及び売掛金	6,959	7,779
商品及び製品	10,743	11,401
その他	1,575	1,757
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	30,650	30,428
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	44,105	43,484
土地	28,652	28,652
その他（純額）	5,031	4,883
有形固定資産合計	77,789	77,020
無形固定資産		
その他	3,701	3,602
無形固定資産合計	3,701	3,602
投資その他の資産		
その他	17,094	17,148
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	17,081	17,135
固定資産合計	98,573	97,759
資産合計	129,223	128,187
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,998	13,921
短期借入金	4,850	4,850
1年内返済予定の長期借入金	4,544	4,574
返金負債	1,322	1,328
契約負債	1,894	1,805
その他	10,372	10,224
流動負債合計	35,982	36,704
固定負債		
長期借入金	12,387	11,456
退職給付に係る負債	34	35
資産除去債務	3,316	3,327
その他	2,861	2,867
固定負債合計	18,599	17,687
負債合計	54,581	54,391

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,117	14,117
資本剰余金	14,028	14,028
利益剰余金	43,573	42,776
自己株式	△1,178	△1,178
株主資本合計	70,540	69,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,572	1,575
退職給付に係る調整累計額	2,175	2,125
その他の包括利益累計額合計	3,747	3,700
新株予約権	33	33
非支配株主持分	319	319
純資産合計	74,641	73,796
負債純資産合計	129,223	128,187

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月21日 至 2025年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月21日 至 2026年5月20日)
売上高	56,825	56,426
売上原価	41,204	41,071
売上総利益	15,621	15,354
営業収入		
不動産賃貸収入	997	1,036
その他の営業収入	2,221	2,245
営業収入合計	3,218	3,282
営業総利益	18,840	18,636
販売費及び一般管理費	18,780	18,955
営業利益又は営業損失(△)	59	△318
営業外収益		
受取配当金	14	36
持分法による投資利益	45	32
リサイクル材売却収入	11	11
その他	23	25
営業外収益合計	94	106
営業外費用		
支払利息	40	57
その他	7	7
営業外費用合計	48	65
経常利益又は経常損失(△)	105	△278
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除却損	11	18
賃貸借契約解約損	0	0
その他	1	1
特別損失合計	12	20
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	93	△298
法人税等	80	△31
四半期純利益又は四半期純損失(△)	12	△266
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	5	△268

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月21日 至 2025年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月21日 至 2026年5月20日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	12	△266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	125	2
退職給付に係る調整額	△26	△50
その他の包括利益合計	99	△47
四半期包括利益	112	△314
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105	△315
非支配株主に係る四半期包括利益	6	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年2月21日 至 2025年5月20日)及び当第1四半期連結累計期間(自 2026年2月21日 至 2026年5月20日)

当社グループにおける報告セグメントは、スーパーマーケット事業のみであり開示情報として重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月21日 至 2025年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月21日 至 2026年5月20日)
減価償却費	1,535百万円	1,496百万円